



平成19年11月14日

報道機関各位

熊本大学企画部企画課広報室

## 町おこしシンポジウム

～文科系・芸術系を交えた広域産学官連携による実質的まちづくりの推進～

熊本大学では、この度、平成19年度産学官連携推進事業( )「町おこしシンポジウム」を下記のとおり開催します。今回のシンポジウムでは、地方の活性化を推進する取組みのひとつとして町おこし活動が盛んな昨今、雇用や収益など地域への経済的効果をもたらす町おこし活動についての講演と、町おこし活動の効果を高める産学官連携をどのように行うべきか、芸術工学・社会文科系・農学関連の町おこしの事例をパネルディスカッション形式で紹介する予定です。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしくお願いたします。

( )九州地域内の産学官連携の促進を支援することを目的として、平成9年から九州経済産業局、(財)九州産業技術センター、(財)九州地域産業活性化センター及び開催大学等により実施する事業です。

### 記

【日 時】平成19年12月6日(木) 13:00～17:00

【場 所】熊本大学工学部百周年記念館(黒髪南地区)

【定 員】200名(先着順) 参加費無料

### 【プログラム】

13:00 挨拶 熊本大学地域共同研究センター長 教授 川路 茂保

(財)九州地域産業活性化センター専務理事 前山 修一氏

13:10～ 基調講演 「町おこしの経営学」三井物産戦略研究所 園田 正彦氏

14:50～ 事例発表[経済効果、雇用効果等を伴う産学官連携による事例]

1. 休耕田を利用したホンモロコ養殖

元鳥取大学教授 七條 喜一郎氏、鳥取県ホンモロコ生産組合 宮島 君美氏

2. 地域を経営する 墨田区の場合

(10分×4) 早稲田大学教授 友成 真一氏、墨田区地域振興部商工担当 郡司 剛英氏

3. うすき竹宵で町が活性化

崇城大学講師 内丸 恵一氏、NPOうすき竹宵代表 高橋 真佐夫氏

4. 地域とつながり里山を守る九州大吟醸

九州大学助教 佐藤 剛史氏、濱地酒造会社常務 濱地 浩充氏

15:30～ パネルディスカッション及び質疑

17:00 閉会挨拶

開催中は発表事例のパネル展示なども行っています。

【お申込み】会社名・団体名及び連絡先(住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス) 参加者氏名、部署名・役職名をご記入のうえ、下記のお問い合わせ先にFAX又はメールでお申込みください。

【申込み締切】平成19年12月3日(月)

詳細は熊本大学ホームページに掲載しています。 <http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

### ～お問い合わせ～

熊本大学知的財産創生推進本部 (担当) 山本、野中、澤井

TEL: 096-342-3142 / FAX: 096-342-3239

E-Mail: liaison@jimu.kumamoto-u.ac.jp